

2021年3月期 第3四半期 決算概要

2021年2月10日



パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証第一部)

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

■ 2021年3月期 第3四半期 決算概要

2021年3月期 第3四半期 決算ハイライト

コロナ禍での大幅減収を固定費削減等でリカバリー、最終黒字化まであと一歩

売上	連結	連結売上高は、前年同期比88.6%、30億円減の236億円。
	日本	前年同期比81.5%の89億円。 電子部品・半導体関連がやや復調したが、自動車関連の低迷が影響大。
	中国	前年同期比96.9%の123億円。但し2Qと3Q会計期間では前年実績超え。 電子部品・半導体関連は好調だが、自動車関連の低迷が継続。
	東南アジア	前年同期比87.3%の9億円。 ロックダウンによる稼働日減少等の影響もあり、全エリアが低調。
	欧米他	前年同期比73.0%の13億円。 欧米ともに低調。特に欧州向け輸出が振るわず。
利益	営業利益は、前年同期比386.0%の932百万円 経常利益は、前年同期比543.5%の1,005百万円 四半期純損失は80百万円（前年同期は四半期純損失2,713百万円）	
ネット資金	設備投資の抑制や運転資金削減等により、期首から912百万円増加。	

■2021年3月期 第3四半期の決算ハイライト

■COVID-19拡大の影響もあり、全ての地域において前年同期よりも減収となったものの、前連結会計年度の減損損失計上による減価償却費の減額に加え、当社グループ全体で経費削減等に取り組んだことから、利益面では大幅な増益となり、最終黒字まで、あと一歩というところまで回復

損益計算書サマリー(3Q累計比較)

(単位:百万円)

3Q比較	2020年3月期	2021年3月期	前年同期差	前年同期比
売上高	26,711	23,658	▲ 3,053	88.6%
営業利益	0.9% 241	3.9% 932	691	386.0%
経常利益	0.7% 184	4.2% 1,005	820	543.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	- ▲ 2,713	- ▲ 80	2,633	-

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

2

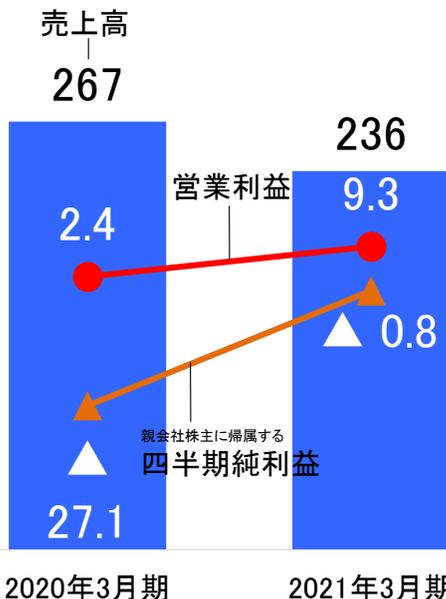
■ 決算数値の概要

■ 売上高は236億58百万円で、前年同期比88.6%、30億53百万円の減収

■ 営業利益は9億32百万円、経常利益は10億05百万円
親会社株主に帰属する四半期純損失は80百万円

売上高と利益(3Q累計比較)

(単位: 億円)



【前年同期比較】

売上高	30 億	53 百万円	減収
営業利益	6 億	91 百万円	増益
純利益	26 億	33 百万円	増益

※親会社株主に帰属する四半期純利益

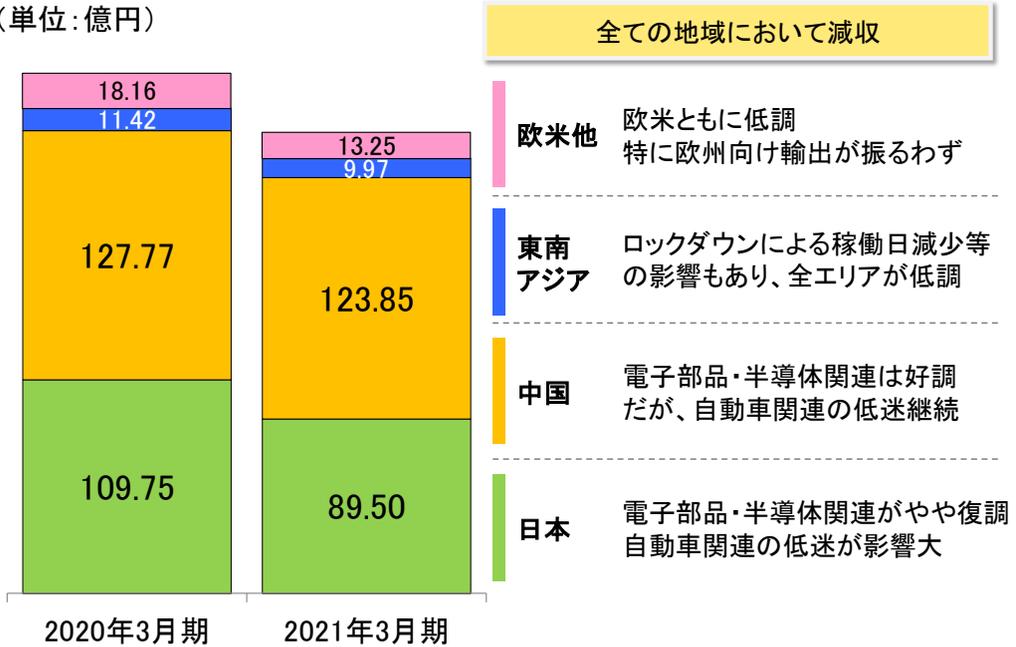
■ 2020年3月期と2021年3月期の売上高・利益比較(3Q)

■ COVID-19拡大の影響による減収となるなか、営業利益以下は増益

※四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

地域別売上高(3Q累計比較)

(単位: 億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

4

■ 地域別の売上高

■ 全ての地域で売上高が減少しているが、中国は逸早く復調

※ 四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

地域別売上高(会計期間比較)

(単位:億円、%は前年同期比)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

5

■当社グループの事業の柱となる、日本と中国の地域別売上高(会計期間比較)

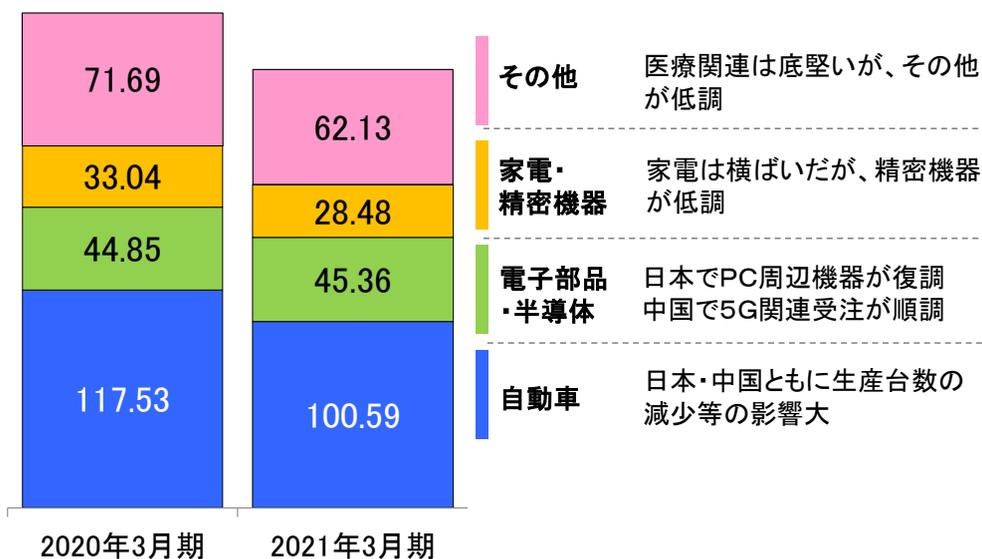
■日本が減収幅を縮小、底を打った印象

■中国も第3四半期累計期間で約4億円の減収だが、復調気配が続いており、第2四半期会計期間及び第3四半期会計期間の売上は前年同期実績よりも増収

業種別売上高(3Q累計比較)

(単位: 億円)

電子部品・半導体関連がやや復調



■業種別の売上高

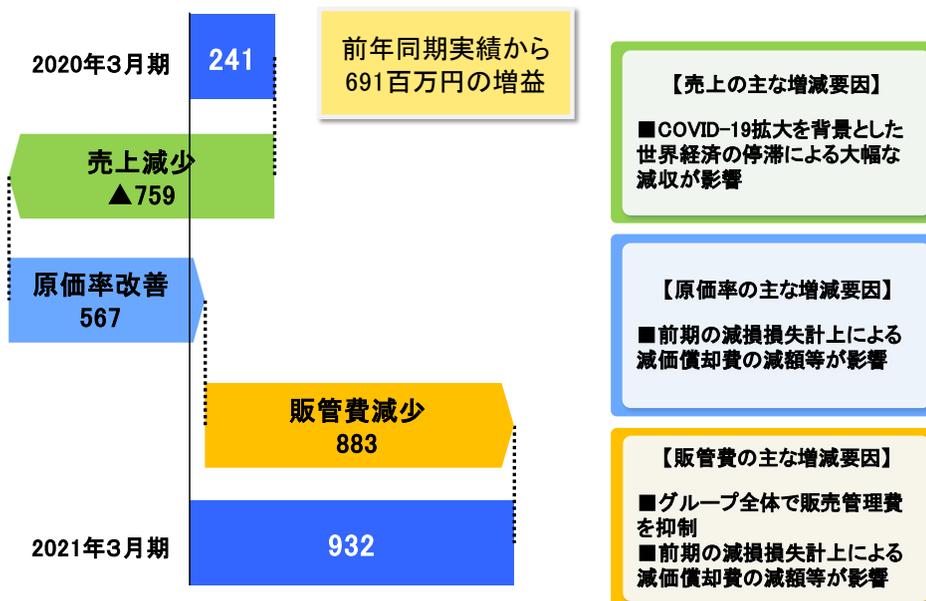
■日本と中国において電子部品・半導体関連は好調に推移し、前年同期実績よりも増収に転じた

■一方、COVID-19の影響が長期間に及んでおり、当社グループにおいて売上構成比の高い自動車関連の低迷が継続したことが、連結売上に大きく影響

※四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

営業利益増減(3Q累計比較)

(単位:百万円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

7

■ 営業利益の増減分析

■ 前年同期実績の営業利益2億41百万円から
売上減少の影響により、7億59百万円の利益減少

一方で、前期の減損損失計上による減価償却費減額等を背景とした原価率改善5億67百万円や、グループ全体で販管費を抑制した効果8億83百万円などから利益増加

■ 結果、2021年3月期 第3四半期の実績は、営業利益9億32百万円
前年同期からは、6億92百万円の増益

貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2020年3月期末	2021年3月期 第3四半期末	比較増減
総資産	25,576	24,299	▲1,277
総負債	13,829	12,745	▲1,083
うち有利子負債	6,455	6,128	▲326
純資産	11,747	11,553	▲193
ネット資金	▲3,065	▲2,152	912
自己資本比率	45.8%	47.4%	1.6pt

	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	1,754	302	▲1,452
減価償却費(無形固定資産含む)	1,328	800	▲527

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

8

■貸借対照表サマリー

■総資産は、主として減損損失計上に伴う有形固定資産の減少及び売上債権の減少等により、前期末と比較して12億77百万円の減少

■総負債は、長期借入金及び仕入債務の減少等により、前期末と比較して10億83百万円の減少

■純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少等により、前期末と比較して1億93百万円の減少

■上記の結果から自己資本比率は前期末から1.6ポイント上昇し、47.4%

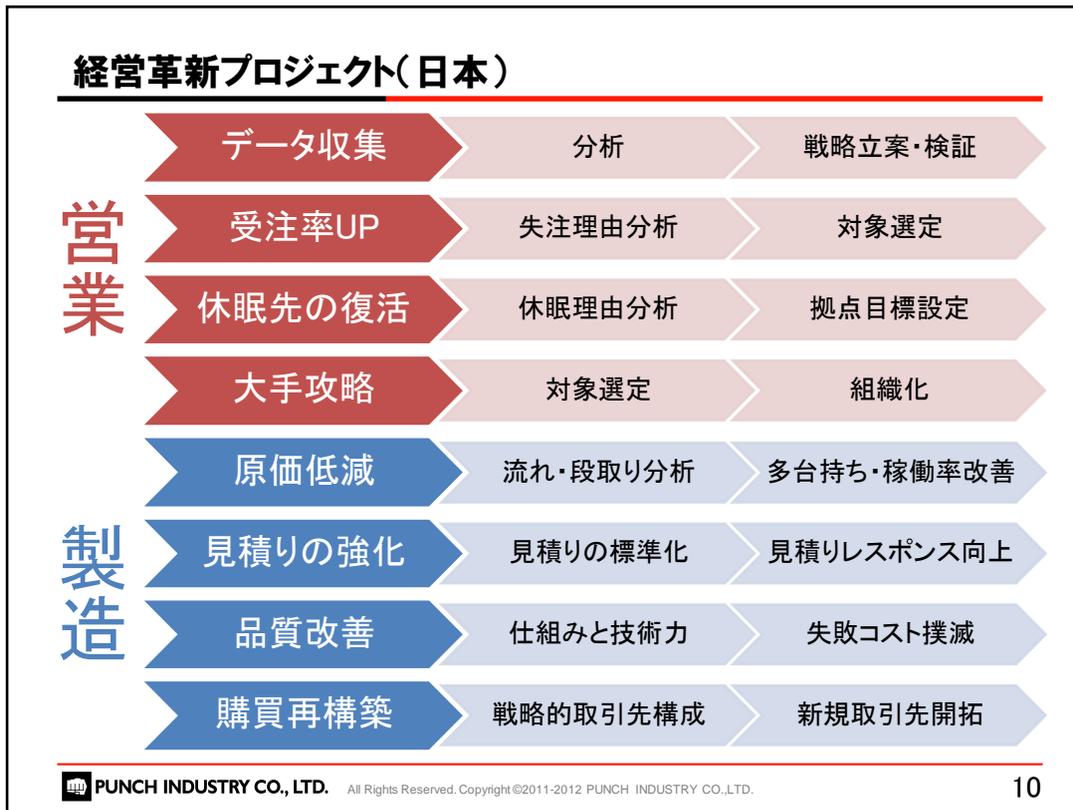
■ネット資金は、業績が悪化する中であって、売掛債権の回収等による運転資金の削減や、投資の抑制などによって財務の守りを固めた結果、9億12百万円改善

■設備投資額は、投資抑制等から前年同期を14億52百万円下回る3億2百万円

2021年3月期 通期業績予想

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

■ 2021年3月期の通期業績予想



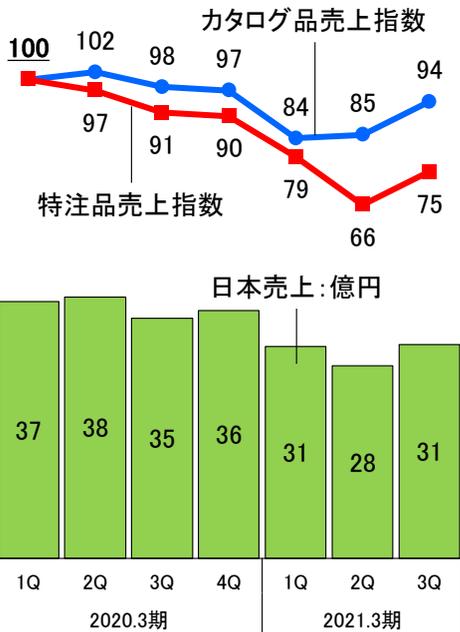
■通期業績予想の補足説明

■COVID-19の影響が長期化していることを受け、抜本的な経営革新に向けての施策の検討を推進中

■外部環境の変化に負けない強靱な経営体質を構築すべく、原価低減や営業戦略の再構築に取り組んでおり、短期的な固定費削減などによる縮小均衡ではなく、経営陣による指揮のもとで全社員一丸となって持続的に利益を出し続けられる仕組みをつくり、中長期的な企業価値の向上を目指す

■中長期で取り組むものが主流を占めるなか、短期的に効果が出ている取り組みもあり、今回の通期連結業績予想の上方修正となった

日本事業の概況



■前期20.3期1Q売上を指数100としてグラフ化
⇒カタログ品は回復、特注品も若干の回復

■中国は堅調＋日本は復調傾向
⇒収益の柱となる地域のため、日本底上げが連結業績回復の要となる

■当社内での取組み
⇒経営革新プロジェクトを推進中
⇒取組む過程で、業績寄与も出てきている
⇒経営の立て直し計画として策定した、中期経営計画「バリュークリエイション2020Plus」と連動した取組み継続

■日本事業の動向に関する補足説明

■日本事業での前期2020年3月期 第1四半期のカタログ品及び特注品の売上を指数100として、その推移をグラフ化

■特注品売上の減少が単体収益の悪化に拍車をかけたことも2021年2月期第2四半期での減損損失計上の背景となっていたが、第3四半期で底を脱した印象

2021年3月期 通期業績予想を修正

(単位:百万円)

	2020年3月期 (実績)		2021年3月期 連結累計期間					
			前回予想 (20/11/11公表)		修正予想		前期差 (前期比)	前回予想差 (前回予想比)
売上高	35,348		31,400		32,000		▲ 3,349 (90.5%)	600 (101.9%)
営業利益	2.4%	835	2.7%	860	4.3%	1,380	544 (165.1%)	520 (160.5%)
経常利益	2.0%	712	2.7%	850	4.5%	1,430	717 (200.6%)	580 (168.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	-	▲ 3,485	-	▲ 380	0.5%	170	3,656 (-)	550 (-)
自己資本利益率 (ROE)	-		-		1.4%		-	-

2021年3月期
配当予想

0円 = 中間 0円 + 期末 0円(予定)

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

12

■ 2021年3月期通期連結業績予想を修正

■ 第3四半期以降も厳しい受注環境が継続するものと見込んでいたものの、足下では日本受注は回復傾向にあり、中国受注も復調が継続していることもあって、売上高の予想を前回公表から引き上げた

■ 利益面でも回復傾向にある受注状況や経営革新プロジェクトで短期的な効果が出ている点に鑑み、上方修正

■ 期末配当に関しては、COVID-19の拡大には、当社グループの業績においても甚大な影響を受けており、現時点で収束の目途が立たないことから、財務体質の改善を図ることが優先であると判断して、誠に遺憾ながら無配予想を据え置く

今後の取組みによる業績予想の確度が上昇する中で経営判断を行う

■ 可能な限り早期に業績回復を図り、それによる配当を再開すべく努める



◇各資料につきましては、当社Webサイトよりご覧ください。

◆決算短信

<http://www.punch.co.jp/ir/library/tanshin.html>

◆決算説明資料

<http://www.punch.co.jp/ir/library/setsumei.html>

◆IRニュース一覧

<http://www.punch.co.jp/ir/2021/>

会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都品川区南大井6丁目22番7号
設立	1975年3月
資本金	28億9,773万円
従業員数	4,020名(グループ連結、2020年3月末現在)
生産拠点	北上工場(岩手県北上市) 宮古工場(岩手県宮古市) 兵庫工場(兵庫県加西市)
グループ会社	株式会社ピンテック(山形市) 盤起工業(大連)有限公司(中国) 盤起工業(瓦房店)有限公司(中国) 盤起工業(無錫)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起弹簧(大連)有限公司(中国) PUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD.(インド) PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア・ペナン) PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール) PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PUNCH INDUSTRY MANUFACTURING VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PT. PUNCH INDUSTRY INDONESIA(インドネシア) PUNCH INDUSTRY USA INC.(米国)



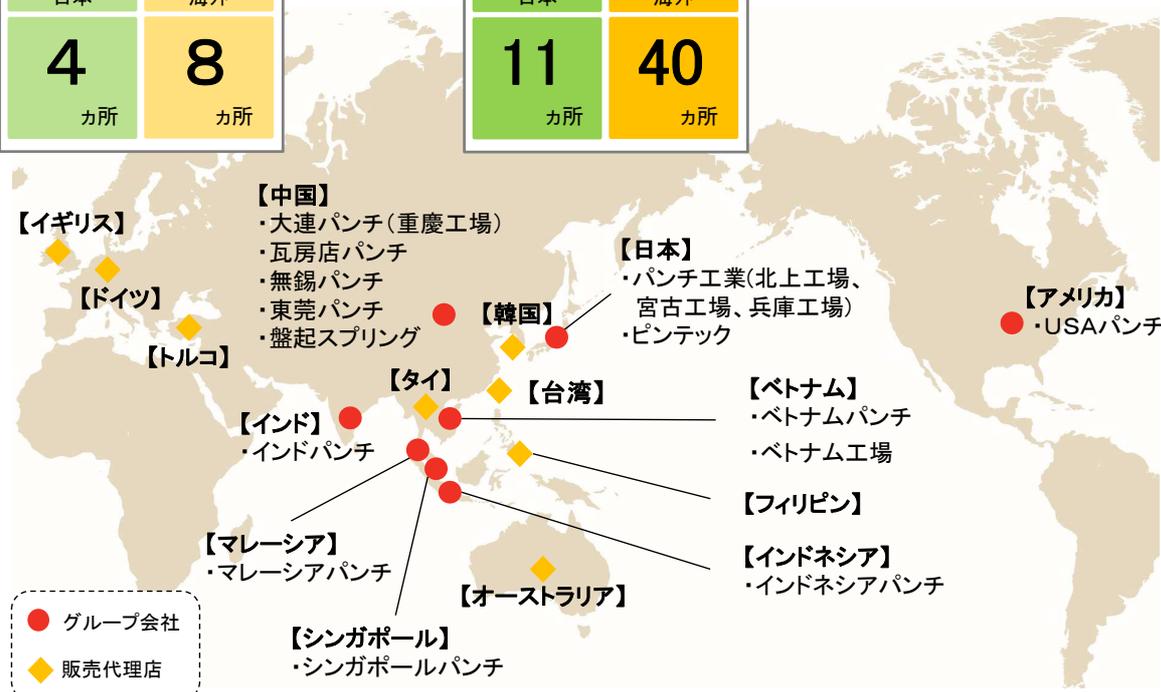
パンチグループのネットワーク

生産拠点数

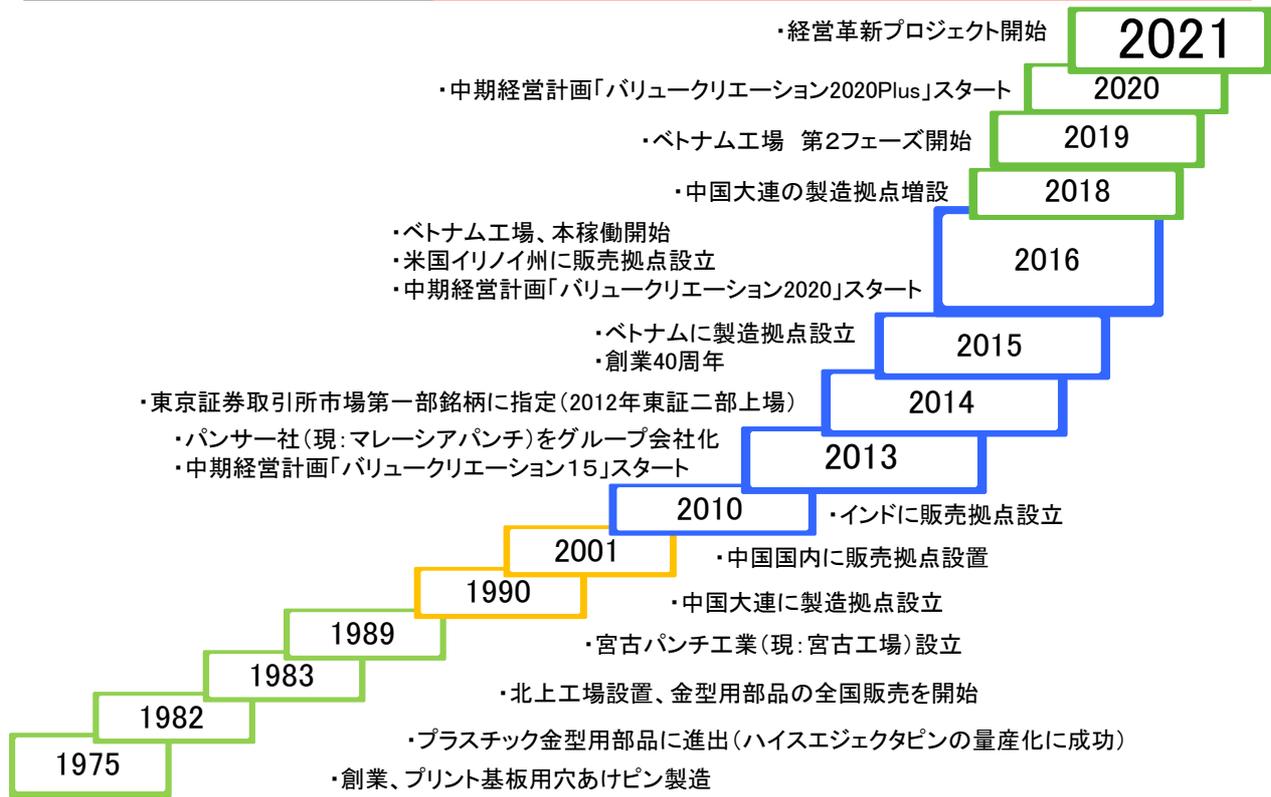
日本	海外
4	8
カ所	カ所

販売拠点数

日本	海外
11	40
カ所	カ所

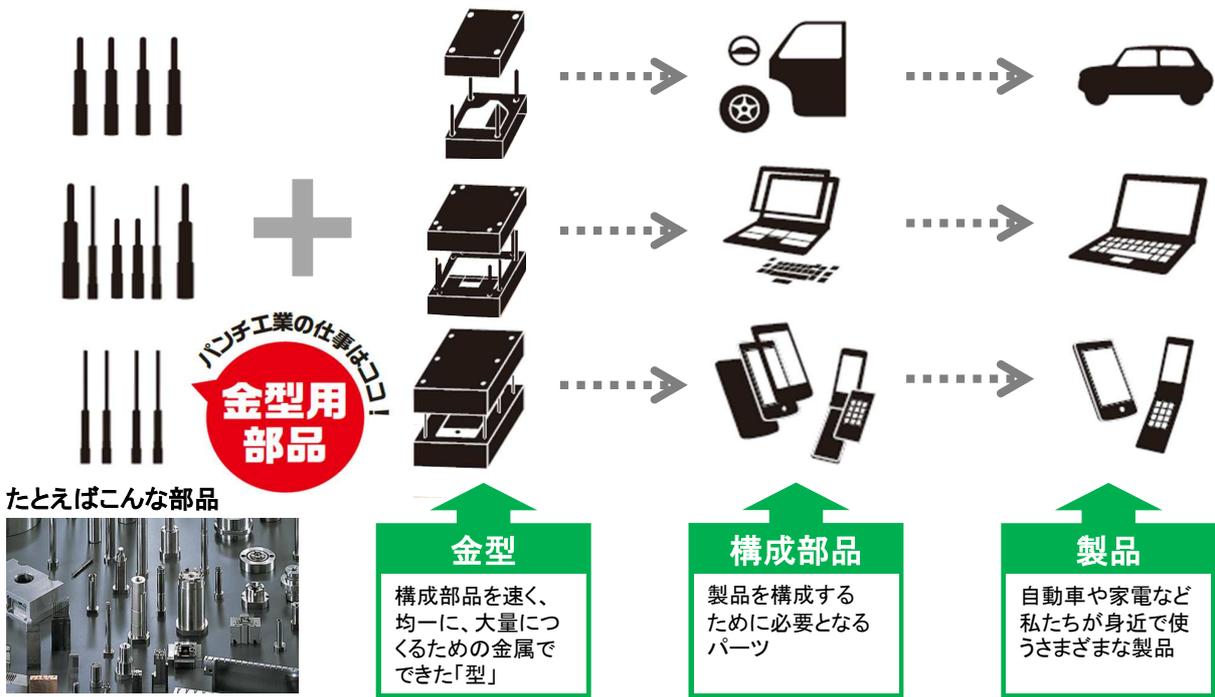


沿革

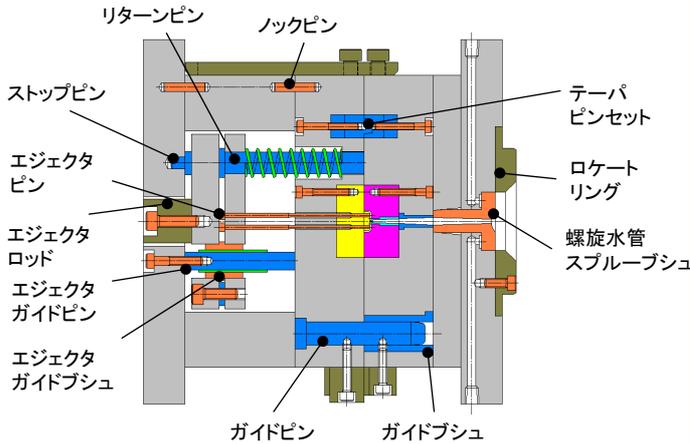
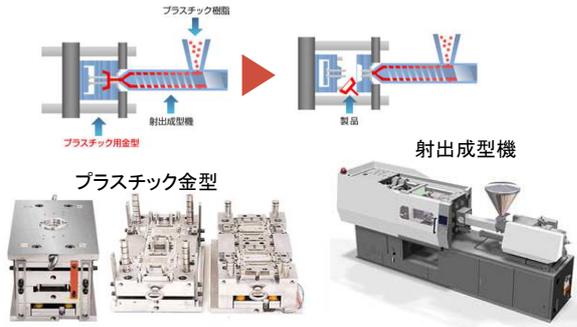


事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密部品の製造・販売



プラスチック金型と金型用部品



●プラスチック金型用部品について

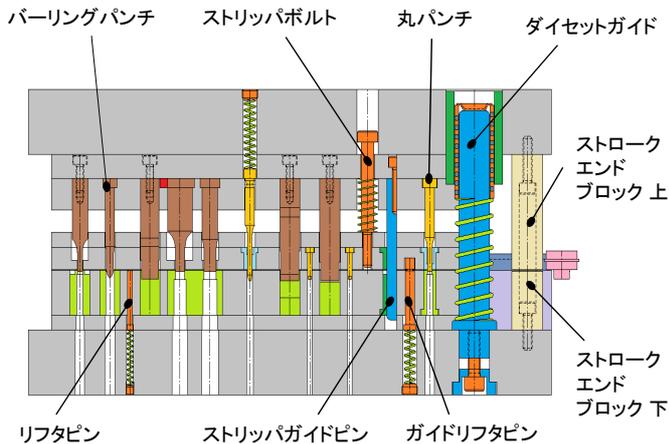
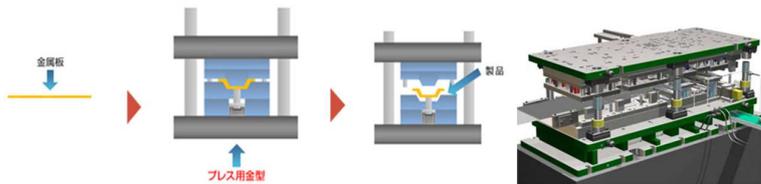
プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られています。

当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピン、スプルーブシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っております。

エジェクタピン... 成型品を金型から離し、突き出すための部品

スプルーブシュ... 射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品

プレス金型と金型用部品



●プレス金型用部品について

プレス金型は、プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の中に材料(金属の鋼板)を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。

当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用する金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っております。

パンチ..... パンチは材料に推しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使われ、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品

ダイセットガイド... 上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品

パンチグループの強み

お客様に高い満足度を提供



カタログ品

汎用性の高い標準製品を豊富にラインナップ

タイムリーで的確なソリューション

特注品

カスタムニーズにも柔軟に対応

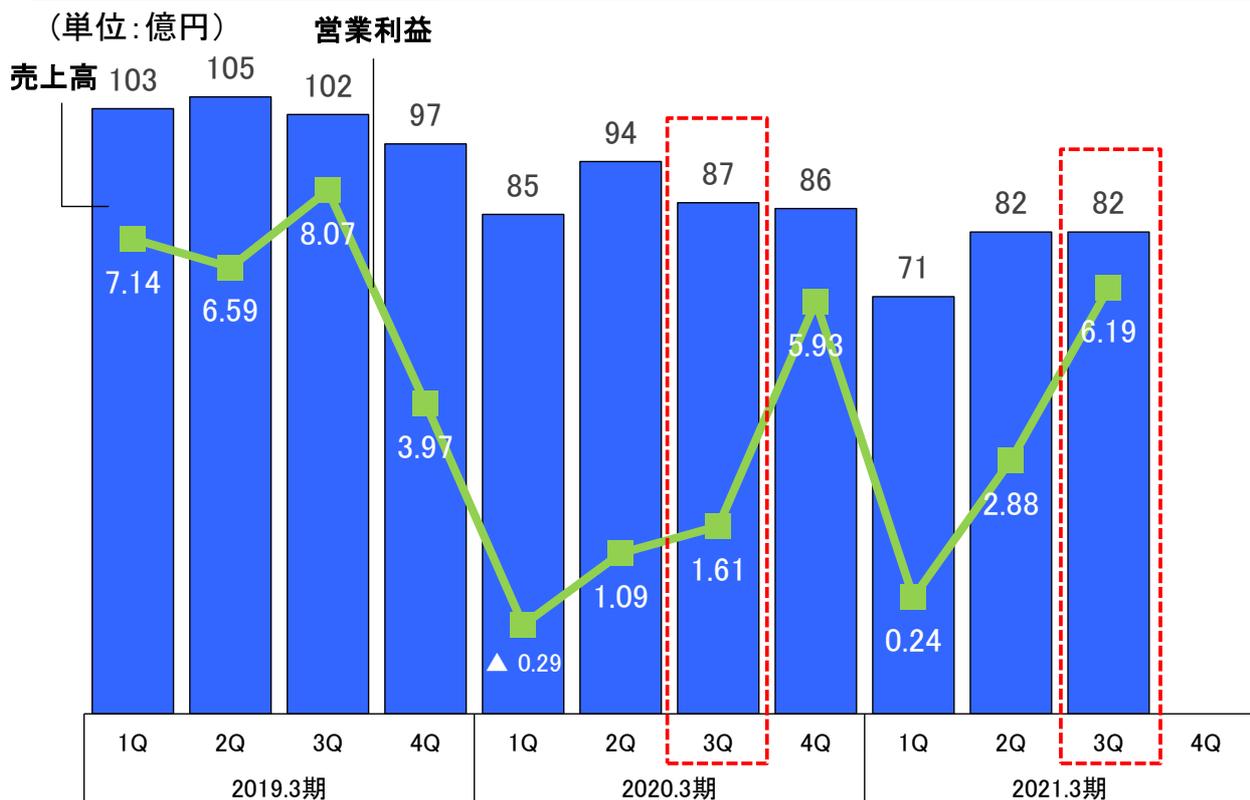


一気通貫の生産体制
2,000台以上の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制
きめ細かな対応・提案力

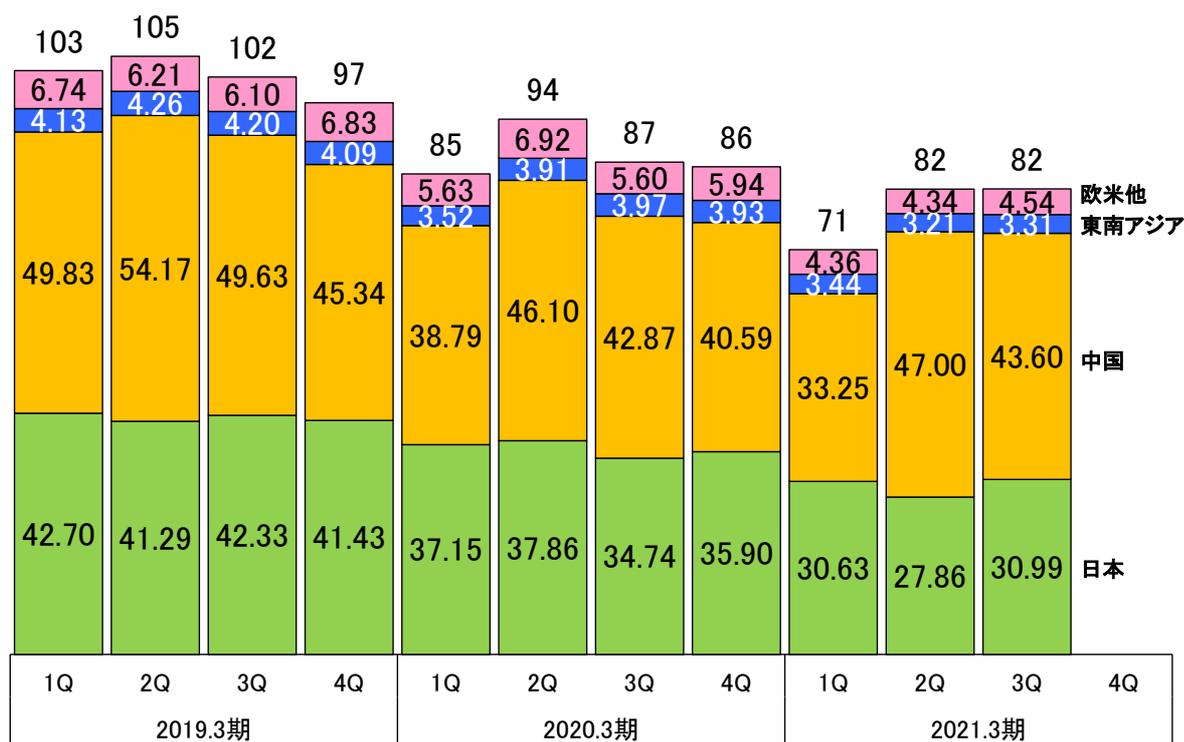
高い技術力
創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発

売上高と営業利益の推移



地域別売上高

(単位:億円)



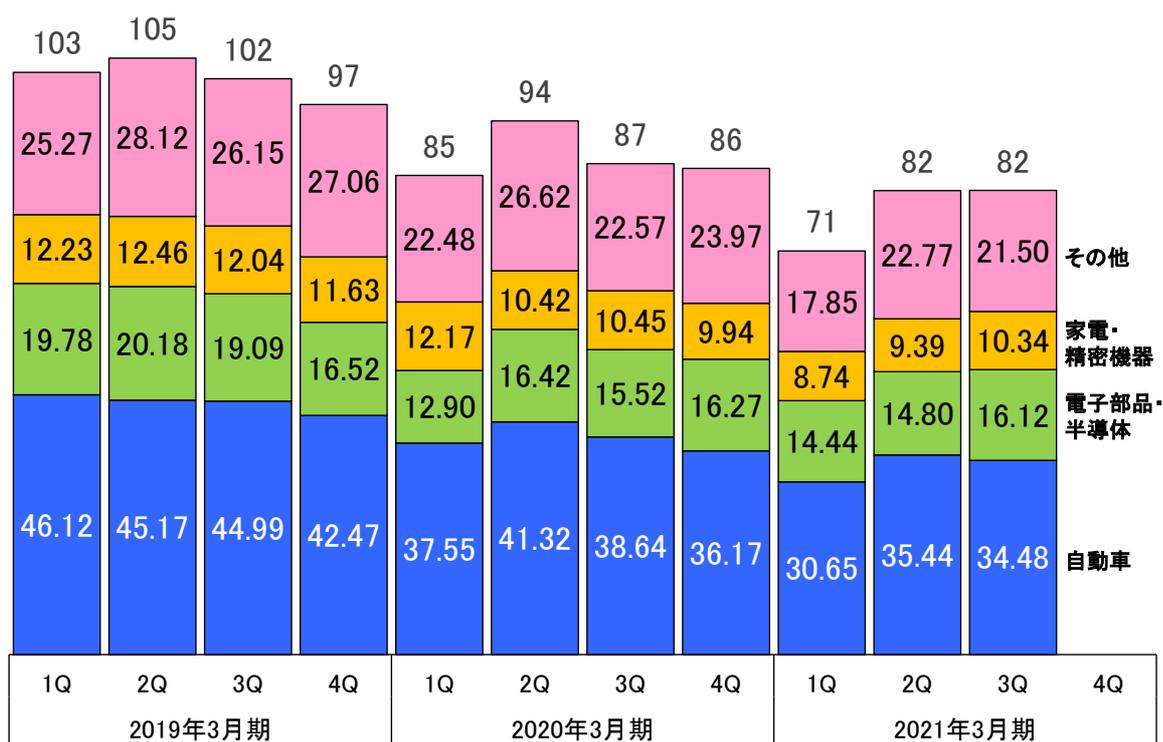
PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

22

業種別売上高

(単位:億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

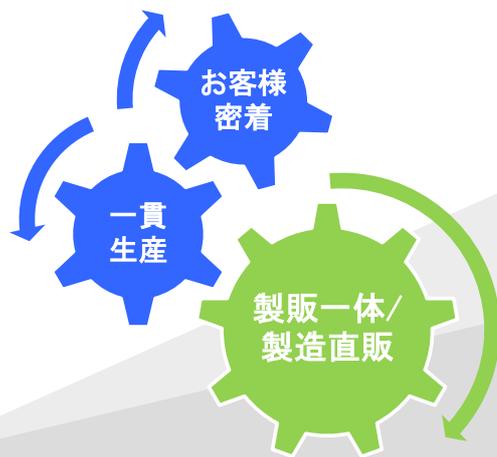
23

CSR経営と企業ビジョン

CSR経営

世界のものづくりを支える企業であり続けるために
CSR経営を実行しています。

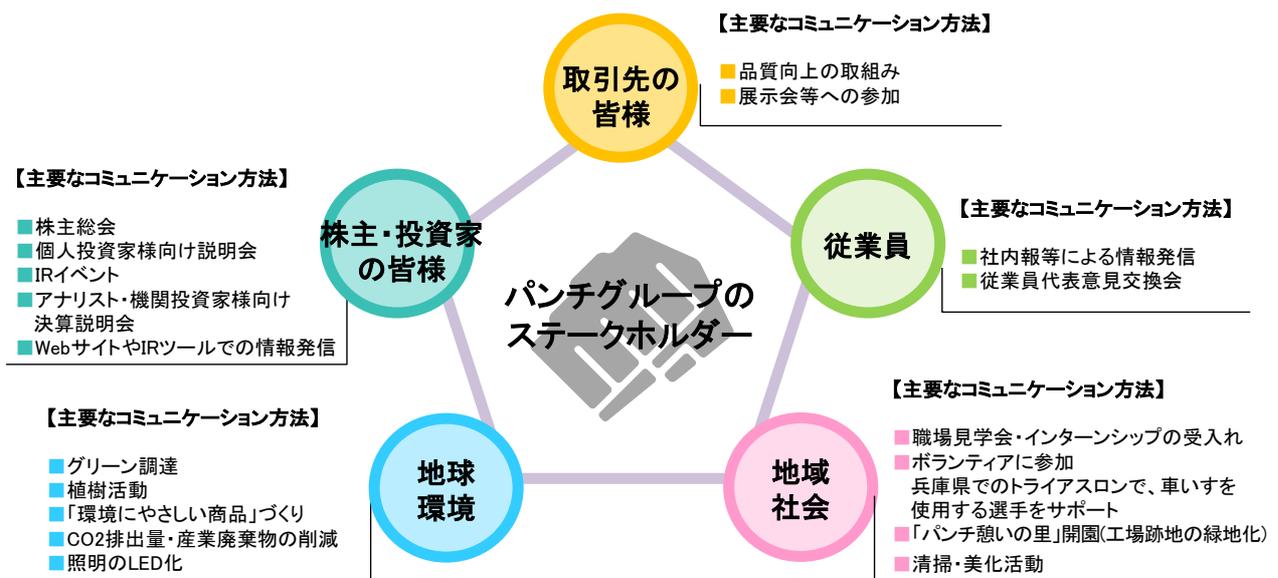
企業ビジョン



世界のパンチへ

金型部品業界での
トップブランドを確立し
製販一体企業としての
優位性を活かした
高収益企業を目指す

ステークホルダーとのコミュニケーション



IRイベント出展



「パンチ憩いの里」開園
(工場跡地の緑地化)



職場見学会



ボランティア活動
(2019年トライアスロンin加西)



【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 経営管理室 広報課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。